

平成19年度 吉野作造記念館 【管理・運営】 についての報告

内 訳

分類	項目	内 訳																																																																						
1	情報ネットワークの強化 読売・吉野作造賞受賞者の先生方とのネットワークづくり 大崎市の各高校とのネットワーク作り	<ul style="list-style-type: none"> ・7月10日 読売・吉野作造賞贈賞式に佐々木理事長、佐藤専務理事、佐々木職員が出席。 ・猪木先生、阿川先生、清水先生と面談・打ち合わせを実施。記念館のネットワークづくりに協力を依頼。 ・3月13・14・18日 古川高等学校の1年生240名が来館。 田中館長による吉野博士についての講話(10分) → ビデオ上映(20分) → 常設展示室内の資料を自由に見学 ・10月19日 仙台第三高等学校1年7組30名が見学のため来館。 																																																																						
2	情報発信基地として 広報活動の強化 全国に吉野作造記念館のホームページを発信するための充実した情報提供 マスコミ関係者と積極的に情報交換を実施	<p>随時、新しい情報を提供することにより、HPアクセスが前年より増となっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成18年度</td> <td>856</td> <td>922</td> <td>956</td> <td>1,202</td> <td>1,149</td> <td>858</td> <td>868</td> <td>1,173</td> <td>1,112</td> <td>1,430</td> <td>1,321</td> <td>1,192</td> <td>13,039</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>1,034</td> <td>997</td> <td>1,102</td> <td>1,227</td> <td>1,219</td> <td>1,167</td> <td>1,328</td> <td>1,434</td> <td>1,335</td> <td>1,669</td> <td>1,426</td> <td>995</td> <td>14,933</td> </tr> <tr> <td>差</td> <td>178</td> <td>75</td> <td>146</td> <td>25</td> <td>70</td> <td>309</td> <td>460</td> <td>261</td> <td>223</td> <td>239</td> <td>105</td> <td>-197</td> <td>1,894</td> </tr> <tr> <td>一日平均</td> <td>34.5</td> <td>32.2</td> <td>36.7</td> <td>39.6</td> <td>37.6</td> <td>42.8</td> <td>47.8</td> <td>43.1</td> <td>53.8</td> <td>49.2</td> <td>32.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業等の開催時に記者会見を開くなどして、記念館の情報発信に活用した。 特に、初の取り組みだった「吉野ネットワーク交流会 次世代の人材育成研修合宿」については、マスコミの方の意見も頂く機会となった。</p> <p>特別企画・写真展で、従来補助役であった職員に企画を任せることにより、資質の向上を目指した。 結果、来館者に好評であり、本人の自信にもつながり人材の層が厚くなった。</p>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平成18年度	856	922	956	1,202	1,149	858	868	1,173	1,112	1,430	1,321	1,192	13,039	平成19年度	1,034	997	1,102	1,227	1,219	1,167	1,328	1,434	1,335	1,669	1,426	995	14,933	差	178	75	146	25	70	309	460	261	223	239	105	-197	1,894	一日平均	34.5	32.2	36.7	39.6	37.6	42.8	47.8	43.1	53.8	49.2	32.0		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計																																																											
平成18年度	856	922	956	1,202	1,149	858	868	1,173	1,112	1,430	1,321	1,192	13,039																																																											
平成19年度	1,034	997	1,102	1,227	1,219	1,167	1,328	1,434	1,335	1,669	1,426	995	14,933																																																											
差	178	75	146	25	70	309	460	261	223	239	105	-197	1,894																																																											
一日平均	34.5	32.2	36.7	39.6	37.6	42.8	47.8	43.1	53.8	49.2	32.0																																																													
3	職員的能力向上に いかした活動 各種研修の受け入れ及び派遣 組織機能向上と 人材育成	<p>1. 派遣: 6月9日 映画「日本の青空」の上映を成功させる古川準備会に高橋学芸員が招かれ、企画展「吉野作造と日本国憲法」-施行60年-での吉野作造と鈴木安蔵の関係について講話を行った。</p> <p>2. 派遣: 7月12日 吉野先生を記念する会の研修会(尚絅学院、東北大学資料館、東北福祉大学芦沢美術館)に中鉢職員が参加し、写真展に関する資料収集等をした。</p> <p>3. 受入: 小・中・高等学校教頭社会体験研修会のため、2名の教頭先生を3日間受け入れた。 職員が担当日に責任を持ち、先生に自分の職務内容を説明し仕事を一緒にしていただく方法で進めた。 7月24、25、26日 加美町上多田川小学校 教頭 富士原かよ子氏受入・研修 7月28、29、31日 仙台第二工業高等学校 教頭 高橋敏昭氏受入・研修</p> <p>4. 受入: 各大学の博物館実習生の研修を受け入れた。 高橋学芸員が実習スケジュールを作成し指導した。 8月21日～26日 3名を研修・指導 8月28日～9月2日 4名を研修・指導</p> <p>1) 佐々木職員: 6月23日に市民活動サポートセンターにてマスコミ講座に参加 テーマ: 「事業・行事等の計画の立て方・進め方」 2) 佐々木職員: 2月6日に仙台市青葉区市民サポートセンターにてNPPOのためのチラシ実践講座に参加 テーマ: 「効果的なチラシ作りを学ぶ」に参加 3) 櫻田職員: 3月14日に宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(東北歴史博物館)に参加 テーマ: 「デザインেশョンキャンペーンと博物館・美術館」</p> <p>4. 顕彰に関する田中館長の活動に職員を同行させて資質向上を図った 1) 4月18日 古川中学校創立60周年記念式典で講演。(担当: 高橋かおる) 2) 6月22日 平成18年度宮城県博物館等連絡協議会参加。(担当: 高橋かおる) 3) 8月22日 宮城いきいき学園 石巻校で講演。(担当: 佐々木 威) 4) 11月2日 宮城県内中学校長会で講演。(担当: 佐々木 威) 5) 12月20日 公開フォーラム参加(仙台市博物館)。(担当: 櫻田逸子) 6) 1月23日 宮城いきいき学園 登米・栗原校で講演。(担当: 佐々木 威) 7) 2月10日 全国商業教育研究協議会・古川教育会館で講演。(担当: 佐々木 威)</p>																																																																						
4	記念館の管理 設備のメンテナンス 講習会への参加	<p>1. 自動ドア(寺岡フジリテイクス) 年3回の点検完了(4月17日、8月22日、12月13日) 2. 受水槽(大平エニテイクス) 年1回点検完了(11月5日) 3. 常設展示室(ワ村工業社) 年1回点検完了(12月10日) 4. 消防設備(同和警備) 年2回点検完了(6月6日、12月7日) 5. 館内警備(同和警備) 開館日: 午後5時30分から翌朝7時30分 休館日: 前日午後5時30分から開館日の午前7時30分まで 6. 館内電気関係(東北電気保安協会) 毎月1回点検(年合計12回点検) 7. 館内空調関係(隣設備工事) 年1回点検完了(2月4日)</p> <p>1. 除草作業 5月22日・7月24日・9月27日 → 3回除草作業完了。 2. 除雪作業 11月22・23日、12月16・21日、1月13・18・20・24・25日、2月10・13・14・16・17日、3月 → 作業実施</p> <p>・年2回の館内清掃をリフレックスかむろへ依頼し実施済み(5月14日、11月26日) 1. ベルト職員による毎日の作業実施中 2. 身障者職員による週2回(水・土)作業を実施中</p> <p>・大崎市が修繕 イ) 講読室の空調修繕完了 ロ) 休憩ラウンジ屋根の雨樋設置完了 ハ) 休憩ラウンジ出口ドア前の部分波状ブロッカー撤去スロープを設置完了 ニ) 研修室のスポットライト用調光器ユニット不良交換完了</p> <p>・吉野作造記念館が修繕 イ) 資料室の空調が真夏日中鳴り故障した。部品交換により改善 ロ) 休憩ラウンジ裏側出入りドアのガラス壊され修繕 ハ) オーディオ機器修繕 ニ) 研修室スポットライト用調光器ユニット不良交換工事費 ホ) 休憩ラウンジ配電盤カギ修繕 ヘ) トイレ便器(小)のトッヅカカバー交換</p>																																																																						
5	施設管理 修繕等 (修繕箇所が見つかるれば大崎市と協議を行い修繕する)																																																																							

平成19年度 吉野作造記念館【事業】についての報告

※参加人数は来観者数とは一致しません

■顕形型の事業	実施時期等	参加人数	事業進捗状況	
1 企画展	3月4日 ～4月13日	794名	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ : 企画展「若き日の吉野作造 - 誕生～旧制二高時代 -」 ・展示構成 : I. 吉野作造のルーツ(古川小学校時代) ①学校生活 ②生活 ③友人 : II. 少年時代(尋常中学校時代) ①仙台への旅立ち ②学校生活 ③先生 : III. 仙台へ(旧制二高時代) ①入学 ②先生 ③キリスト教との出会い ④尚志会雑誌 : 794名(平成19年度 625名、平成20年度 169名) ・来館人数 	
	7月21日 ～9月2日	664名	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ : 特別企画・写真展「知ろう！学ぼう！吉野作造」 ・内容 : 吉野作造の生涯を分かりやすく写真で解説(生い立ち～民本主義を唱えるまで) ・写真32枚、キヤノンコンデ補足説明、小、中学生が対象 	
2 吉野作造 研究論文 公募事業	一次募集締切 H19年10月31日 二次募集締切 H20年5月31日	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・募集内容 : 吉野作造生誕130年、没後75年記念事業として「吉野作造研究」論文を募集。 ・テーマ : 吉野作造の思想ならびに業績 ・審査員 : 太田雅夫氏、祇園寺則夫氏、田中昌亮(当館館長) ・賞金 : 最優秀賞(1名)10万円、優秀賞(2名)各3万円 ・応募資格 : 資格は問いません。ただし、使用言語は日本語 ・経過状況 : 3月17日 太田雅夫氏・祇園寺則夫氏に来館頂き、田中館長、高橋職員で論文公募要項趣旨・テーマ・表彰応募方法・審査・規定等の確認。 6月16日 三役により応募要項の最終確認 6月27日 関東以北の各大学にポスター、チラシ等を郵送(全266箇所) ①ポスター、チラシ郵送:254箇所 大学学部別106学部、図書館関係77箇所、博物館34箇所、歴史学会16箇所、その他・市内施設関係21箇所 ②ポスターのみ郵送 12箇所(東北6県の県立・市立図書館等) ・論文応募者及び一次審査結果 1. 応募者: 11名(県内2名、県外7名、海外2名) 2. 一次審査通過者: 11名(二次審査締切り平成20年5月31日) ・発行部数:600部 	
3 吉野作造研究 (第4号)	3月～	-	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容:①仁昌寺正一先生(東北学院大学教授) < 研究ノート >「鈴木義男と吉野作造 - 一つの覚書 -」 ②和泉敬子先生(元尚絺学院短期大学教授) < 論文 >「吉野作造と六合雑誌」 ③祇園寺則夫先生(小山工業高等学校教授) < 書評 >「松本三之介『吉野作造』、田澤晴子『吉野作造』」 ④橋本章氏(賛育会理事長) < 寄稿 >「賛育会90周年を迎えて」 ⑤田中昌亮(吉野作造記念館 館長) < 吉野作造講座 >「佐々木平太郎日記を読み、吉野作造との関わりを紹介」 	
4 館長講座 等	9月～12月 全8回講座	138名	<ul style="list-style-type: none"> ・講座名 : 「吉野作造講座」 ・講師 : 田中昌亮(吉野作造記念館館長)、高橋よし子氏(9月29日 外部講師)、後藤一藏氏(11月17日 外部講師) ・時間 : 13時～15時 ・受講料 : 1,600円(受講回数に関係無し) ・講座日程・参加者数等: 第1回 9月22日 22名 「吉野作造と新明正道」[吉野作造日記・現金出納簿1907(明治40)年] 第2回 9月29日 20名 「古川の町が歴史の表舞台に立った日」～明治9年・天皇東北巡幸～ 第3回 10月13日 19名 「吉野作造と鈴木義男」[吉野作造日記・現金出納簿1915(大正4)年] 第4回 11月 3日 16名 「吉野作造と河村又介」[吉野作造日記・現金出納簿1917(大正6)年] 第5回 11月17日 15名 「関東大震災 - 「民衆の警察化」と「東大VMAC」の動きを中心に考える -」 第6回 11月24日 15名 「吉野作造と長谷川如是閑」[吉野作造日記・現金出納簿1918(大正7)年] 第7回 12月 1日 15名 「吉野作造と佐々弘雄」[吉野作造日記・現金出納簿1919(大正8)年] 第8回 12月 8日 16名 「吉野作造と白柳秀湖」[吉野作造日記・現金出納簿1920(大正9)年] 	
5 資料収集事業	通年	-	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野作造に関する資料の収集・購入。 	
6 資料永久保存化 (※資料登録・検索掲載事業と連動)	通年	-	<ul style="list-style-type: none"> ・必要機材の整備:資料永久保存化のためVHSデッキを整備 ・保存化状況 : 読売・吉野作造賞受賞者講演会第3回から第8回までのDVD・CD保存の終了。 DVDへ変換(古田博司氏、阿川尚之氏、長谷川毅氏、山本吉宣氏) CDへ変換(猪木武徳氏、中西 寛氏、竹森俊平氏、古田博司氏、阿川尚之氏) 	
7 資料登録・検索掲載事業	通年	-	<ul style="list-style-type: none"> ・検索システム登録資料の登録内容と資料の現物を校正。(累計:3,285件が検索システムへ登録済み) 	
8 常設展示内容見直し(市と連携)	通年	-	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の検討会にとどまる。常設展示室の機器等の劣化対策が優先課題となったため、内部での構想作りを進めることとする。 	
(A)・・・合計	-	1607名	-	
■発信型の事業	実施時期	参加人数	事業進捗状況	
1 記念館だより発刊(第16号)	1月～	-	<ul style="list-style-type: none"> ・発行日 : 平成20年4月1日に発行。 ・部数・体裁 : 50,000部印刷、全8ページ2色刷り、大崎市内全戸配布(46,000部) ・主な掲載内容 : ① 吉野作造生誕130年、没後75年吉野作造記念館夜明け前 : ② 企画展「若き日の吉野作造 - 誕生～旧制二高時代 -」 : ③ 仙台白百合女子大学来館による原稿依頼(大本泉教諭と学生2名) : ④ 平成19年度イベント紹介、寄贈資料一覧他 	
2 広報事業	GW イベント	5月4・5・6日	649名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容:子供を対象とした無料開放 ①お楽しみ劇場(親子で楽しめる人形劇、『おむすびころりん』『かえるのピッキー』等上演) ②映画上映(名匠小津安二郎の映画の世界「晩秋」を上映) ③工作教室(白い紙に絵を描いてもらい、ワグカッパを作る。川原の石に好きな絵を描いてもらうストーンシートを実施。) ④七夕飾りを作る
	サマー イベント	8月4日	176名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容:子供を対象とした無料開放 ①おたのしみ劇場(親子で楽しめる人形劇、『おむすびころりん』『かえるのピッキー』等上演) ②写真展「知ろう！学ぼう！吉野作造」 吉野作造の子どもの時代から政治学者となるまでの出来事を写真で紹介。また、写真の横に質問を設け、クイズに答えてもらった。 ③きゅうけいコーナー(フリスクリーム、ラムネ、お楽しみクジ)
広報活動	通年	-	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎市内へイベントレット配布。ホームページでの広報活動。 	

平成19年度 吉野作造記念館【事業】についての報告

※参加人数は来観者数とは一致しません

発信型の事業	実施時期等	参加人数	事業進捗状況
			<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き大崎市の共催を得て遂行 ・広報活動経過： <ul style="list-style-type: none"> 4月10日 大崎市教育委員会伊東敬一郎教育長に中学生招館事業に共催として協力頂けるよう共催依頼を提出 4月19日に4月10日付で伊東敬一郎教育長から共催の承認を得る 7月3日 各校に説明・来館要請活動 <ul style="list-style-type: none"> ①〔古川東中学校〕船城校長先生・斉藤教頭先生に面会(我妻理事・久光事務長・中鉢職員) ②〔鹿島台中学校〕鈴木校長先生・千葉教頭先生に面会(我妻理事・久光事務長・中鉢職員) 7月5日 各校に説明・来館要請活動 <ul style="list-style-type: none"> ①〔古川南中学校〕福島校長先生に面会(佐藤専務・久光事務長・高橋職員) ②〔古川北中学校〕土田校長先生に面会(佐藤専務・久光事務長・高橋職員) 1月18・23日 各校に説明・来館要請活動 <ul style="list-style-type: none"> ①〔三本木中学校〕古内校長先生に面会(久光事務長)→H20年10月3日来館予約済み ②〔松山中学校〕我孫子校長先生に面会(久光事務長) 2月26日 各校に説明・来館要請活動 <ul style="list-style-type: none"> ①〔古川西中学校〕大澤校長先生に面会(久光事務長) ②〔田尻中学校〕伊藤校長先生に面会(久光事務長)
3 中学生 招館事業	4月～10月	97名	<ul style="list-style-type: none"> ・来館中学校：〔岩出山中学校〕 8月24日 岩出山中学校より吉野作造のコーナーを作るに当たり協力を依頼され、写真、資料等をコピーして貸し出す(中学生招館事業に向けた関連として) 10月13日 三浦先生と打合せ(記念館：田中館長・久光・中鉢職員) 10月24日 吉野作造記念館へ来館(引率の先生5名、生徒92名) 見学内容：スケジュール説明、館長による挨拶(5分)、スライド説明(15分)、ビデオ上映(20分)、展示資料自由見学(20分)
4 吉野賞受賞者 講演会	10月20日	59名	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者：山本吉宣氏(青山学院大学国際政治学部教授) ・演題：「国際政治と民主主義」 ・受賞作：『「帝国」の国際政治学』(東信堂) ・講演の様子をDVD及び講演録にし、読売・吉野作造賞受賞者紹介コーナーに設置
5 吉野賞受賞者 受賞経過資料 展示事業	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・読売・吉野作造賞受賞者である先生方を紹介するためのコーナーを設置 ・先生方のプロフィールや受賞作・講演録を置き、分かりやすく紹介。また、DVDにて講演を視聴できるようにした。 ・山本吉宣氏(青山学院国際政治経済学部教授)の読売・吉野作造賞受賞者講演会実施後、著書・受賞経過資料の展示済み
6 吉野ネットワーク 交流会	9月6～8日	第五セッション 一般聴講者 22名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業名：次世代人材育成研修会 ・講師：猪木武徳氏、阿川尚之氏、御厨貴氏、荻部直氏、清水唯一朗氏(コーディネーター) ・参加者：講師推薦学生(7名)、地元参加者(4名)
7 記念館友の会事 業	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の友の会等資料を参考にし、検討中。
8 寺島実郎氏 特別講演会	11月1日	198名	<ul style="list-style-type: none"> ・演題：「吉野作造の現代日本の進路」 ※当日抽選にて来場者に、先生の著書「経済人はなぜ平和に敏感でなければならぬのか - 寺島実郎の発言II」を無料進呈 ・主催：吉野先生を記念する会、吉野作造記念館
(B)・・・合計		1201名	
<ul style="list-style-type: none"> ■記念館活用型の事業 			
1 ワークショップ活用 事業	-	-	・継続検討中
2 オビニオン ホール事業	-	-	・子供向け冊子を作成中
3 読売吉野作造賞 表彰式招致事業	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・読売・吉野作造賞表彰式の主催者側とのネットワークをじっくり構築しつつ、進める。 ・贈賞式に積極的に参加しながら交流を広げ深めている。
(C)・・・合計		0	
(D)・・・総計 (D)=(A)+(B)+(C)		2,808名	
			事業進捗状況